

こおろぎ

発行日 2009年9月1日 **No.200**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
発行者 杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

200号を振り返って

100年に一回の不況の中、「こおろぎ」も200号を迎えました！会社のコピー機で300部をコピーし、手作りの封筒で配ったことがついこの間のようです。しかし、こうしたことを続けてきて私の人生は自分でも信じられないほど変わりました。

17年間、「こおろぎ」やハガキを続けてきていくつか分かったことがあるので今回はそれを紹介したいと思います。

1、人生は経営であり、アウトプットで決まる。

私は人生も経営するものだと思っています。経営について講義する際にも「人生も経営も、アウトプットで決まるのですよ！」と言っているのですが、経営の勉強に来ている人たちを見てみると、「どうしたら自社が儲かるか？」を考え、本を読んだり、講義をノートに写して帰って行くのです。でも、それってインプットじゃないですか？？

学校では本を読んだり、記憶した人がほめられますが、実際の人生は、何を知っているかではなく、どんなものを発信しているかで決まるのです。私が20年間、増収増益を続けられたのは、「もらうこと」よりも「与えること」に意識を向けてきたからだと思うのです。

私も決して上手ではありませんが、私と会った人がやさしくなったり、元気になったら、私の人生は豊かなものになっていくと思います。経営もそれと同じで、その会社があることで多くの人々が幸せを感じれば、その会社は結果として儲かると思うのです。それなのに大人も子どもも、「もらうことが得」「与えることは損」と思い込んで、アウトプットではなく、インプットばかりに目がいつている気がするのです。

誰が、自分の得ばかりを考えている人を応援するでしょう？

人生がうまくいかない人、商売が儲からない人は、自分がどんなアウトプットをしているかをチェックしてみたらよいと思います。

人生も、商売も、「ありがとう！」と言われた人が豊かになります。明るい笑顔。気持ちの良い言葉。ちょっとした心遣い。そうしたアウトプットをしていたら、人生は豊かになると思います。

2、楽しめるから、うまくいく。

このところの不況で「儲からなくて苦しい」「成果が出なくて苦しい」という話をよく聞くことがありますが、私は「成果が出ないから苦しい」のではなく、「苦しんでいるからうまくいかない（成果が出ない）」のではないかと考えています。

人生を作ったり、会社を経営するにあたって、人には二つのタイプがあるようです。一つは、不安や心配に突き動かされて行動するタイプ。もう一つは、自分の夢を追いかけて行動するタイプです。

いろいろな方とお付き合いしてきて分かったことは、成功されている人のほとんどは、自分の夢を追いかけて行動するタイプだということです。その努力によって夢が近づくのですから、努力していても楽しいと思いますし、継続することも苦ではないと思います。

それとは逆に、赤字にならないためにといった不安によって動いている人は、決して楽しい努力ではないと思いますし、その不安が小さくなれば努力を継続することは苦痛になると思うのです。

そのため楽しんでいる人のほうが、苦しんでいる人よりもうまくいくのです。

こうした話をすると、「では、夢がない人はどうしたらよいのですか？」という質問がよく出ます。夢がない人は、今の仕事にもっともっと一生懸命に取り組み、工夫をして、人の役に立つことです。

人に感謝されたら、きっと夢が見えてくると思います。

3、置かれている世界、見ている世界は、自分自身！

人は自分の考え方を基準に物事を見ています。そして自分の見方を保障する出来事を探しては、自分の考え方を強化していきます。

例えば、「性格は、変わるか？ 変わらないか？」という質問に対して、「変わる」と答えた人の性格は変わり、「変わらない」と答えた人の性格は変わらないという調査結果があるそうです。考えてみれば、「変わらない」と思っている人は、変わらないということを前提で努力しているわけですから、性格が変わる前に「やっぱり性格は変わらないや！」と納得して努力を止め、「性格は変わらない」という信念を一層深める結果となるのです。

時々、「どうせ俺なんて！」「出来っこない！」「無理！」という言葉を使う人がいますが、そう思っていたらその通りの結果になるのは当然のことです。

これと同じで、「人は自分を裏切るものだ」と思っている人は、人の些細な行為を見て「裏切られた」と感じ、「人は油断できないもの」という信念を強化していきます。結局、自分が思っている通りの世界に生きるのです。

スタンフォード大学の研究によると、成功した人は成功の理由を自分の外に見、失敗の理由を自分の内に見る傾向があり、失敗を続ける人は、成功の理由を内に見、失敗の理由を外に見る傾向があるそうです。

成功する人も、成功しない人も、その人にとってはそれが事実であり、その信念を強化していくのだと思います。

皆さんは、どんな世界を見ていますか？

4、不幸は、当たり前から始まる。

私達は、本当に多くのものに支えられて生きています。空気があること。太陽が出ること。命があること。どれも自分の努力の結果ではありません。それなのに「当たり前」と思って、その幸せを味わっていません。それどころか、祖先や先人のご苦労を忘れ、暑いとか寒いと文句を言いがちです。

水の中にいると水が見えないように、私達は幸せの中にいると幸せが当たり前になって見えなくなるようです。生活が便利になり、昔の人よりこの時代に生きている人が不幸なはずがありません。もし幸せでない人がいるとしたら、幸せが足りないのではなく、幸せを味わう力が落ちているのです。

人も、お金も、幸せも、自分を認め、大切にしてくれる人のところに寄ってくるものです。

「当たり前」と思って見逃している幸せはないでしょうか？

家族が元気でいてくれる。仕事がある。社員さんが出勤してくれる。そうした「当たり前」と思いがちなことを認めて、「ありがとう」を伝えていいたら、幸せの感度が少しずつ高くなると思います。

5、好かれた者が勝ち！

勉強が出来なくても、運動が出来なくても、幸せな人生を手に入れる方法があります。それは人にかわいがられ、好かれることです。

人生を作っていく上で、絶対に忘れてはならないことは、食事代を出しても一緒に食事したい人がいるし、凄いごちそうをおごってもらっても一緒に食事をしたくない人がいるということです。

特に経営者は、社員さんに、お客様に、地域の方々に支えていただかなければどうにもなりません。学校では「公平が良いこと」と教えますが、ごひいきをいただければやっていけないのです。

最近では子ども達に教えなくなりましたが、人を不快にしたら不幸になり、人に好かれたら幸せになるのです。

ひたむきに努力をして、人から注意されたときに「ありがとうございます。また気がついたら教えてください」と言ったら間違いなくかわいがられると思います。